

第8回全国相撲指導者研修会開催要項
《国庫補助事業》

- 1 趣 旨 全国で相撲を指導する小中学校・高等学校の教員及び社会体育指導者並びにこれらを目指す者等を対象に、相撲の授業における指導の理論と方法に関する研修会を実施し、専門的な知識・技術・指導法を習得した指導者を養成する。もって我が国の伝統と文化に立脚した相撲を通した人格形成活動の普及振興を図る。
- 2 名 称 第8回全国相撲指導者研修会
- 3 主 催 公益財団法人日本武道館、公益財団法人日本相撲連盟
- 4 後 援 スポーツ庁、勝浦市教育委員会（予定）
- 5 期 間 令和3年11月19日（金）～21日（日）
- 6 場 所 日本武道館研修センター（千葉県勝浦市沢倉 582）
TEL 0470-73-2111 FAX 0470-73-2819 ※勝浦駅から徒歩 15 分
- 7 参加資格 以下の（1）～（2）の全ての条件を満たす者
（1）以下の①～④のいずれかの条件を満たす者。相撲経験は問いません。
① 小中学校・高等学校の教職員及び指導者。
② 社会体育指導者。
③ 上記①及び②を目指す者。
④ 各都道府県相撲連盟、全国高等学校体育連盟相撲専門部、日本学生相撲連盟、日本実業団相撲連盟、日本女子相撲連盟との調整のもと外部指導員となりうる者として、公益財団法人日本相撲連盟が認めた者。
（2）主催者、施設管理者の定める新型コロナウイルス感染防止のための対策および措置に従うことを約諾する者。
- ※基礎疾患を有している者は、あらかじめ主治医の了解を得ること。
- 8 参加人数 25名（人数調整は主催者が行う。）
- 9 申込先 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-15-20 公益財団法人日本相撲連盟 宛
- 10 申込締切 令和3年10月8日（金）必着
- 11 参加者補助 （1）参加費無料。研修会当日に資料を無料贈呈。
（2）日本武道館が定める往復交通費及び宿泊費（食事付）を補助（ただし、所属団体等より往復交通費の補助を受けている参加者には補助しない。申込書に記入のこと）。
- 12 所持品 運動着、保険証、筆記具、中学校武道必修化指導書（所有している方はご持参ください）。
※タオル、歯ブラシ等はありませんので各自ご持参ください。
また、感染防止対策のため、以下の物も必ず持参してください。
マスク、室内履き（スリッパなど）、体温計、体調確認票 A（事前に送付されたものに、14 日前からの体調及び体温を記録してください。)

- 13 研修計画 実施内容・日程表及び当日配布するプログラムに沿って実施し、参加者には主催者より修了証を授与する。
- 14 連絡事項 (1) 宿泊は1部屋を1名で使用する。
(2) 風呂・トイレは共有となる。
(3) 参加が確定した方には、事務局からお知らせをいたします。航空券・旅券の手配は参加が確定次第行うこと。
- 15 新型コロナウイルス
感染防止策 (1) 本研修会が開催中止となった際には、申込書記載の連絡先に中止の連絡を行う。
(2) 以下に該当する者は参加を見合わせる。(申込後に該当する場合は主催者に連絡の上、参加を見合わせる)
・体調が良くない場合(例、発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
・過去14日以内に政府から、入国制限あるいは入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航がある場合、またはこれらの国・地域の在住者との濃厚接触がある場合。
(3) 受講者には、事前に主催者から「体調確認票A」を送付するので、研修会の14日前から検温および体調確認を行い、同票に記録する。同票は受付時に提出する。
(4) 研修期間中は、以下の点に注意すること。
・他者との間に適切な身体的距離を保つようにする。
・他者との会話には十分注意する。
・こまめな手洗い、換気、消毒(手指や直接手の触れるものや場所)を実践する。
・自室で過ごす時間、食事・入浴等の時間を除き、原則として常時マスクを着用する。
※研修期間中に感染者が出た場合には、研修会を途中で中止することもあり得る。
(5) 研修会終了後14日以内に感染が確認された場合は、速やかに主催者に連絡すること。
(6) この他、状況に応じて主催者、施設管理者が感染防止上、必要と認めた事項を遵守すること。
(7) 主催者の定める取り決め、指示を遵守できない者については、主催者の判断で、研修を中止し帰宅してもらう場合もある。
- 16 その他 初回参加者には日本武道協議会設立40周年記念『中学校武道必修化指導書(DVD3巻付)』(武道編・相撲編)を無償配布する。
- 17 問合せ先 **【研修内容・日程・申込書提出について】**
公益財団法人日本相撲連盟
〒169-0073 東京都新宿区百人町1-15-20
TEL: 03-3368-2211 FAX: 03-3368-0440
(土・日・祝日を除く)
【会場・宿舎・旅費について】
公益財団法人日本武道館 振興部振興課
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL: 03-3216-5134 FAX: 03-3216-5117
(土・日・祝日を除く)

以上

第8回全国相撲指導者研修会 日程表

	日付	11月19日（金）		11月20日（土）		11月21日（日）	
午 前	6						
	7		6:30	起床	6:30	起床	
	8		7:00	朝食	7:30	朝食	
	9		8:00	更衣・移動	8:30	更衣・移動	
	10		8:30	実践事例紹介	9:00	実践研究Ⅲ 審判法	
	11		9:10	休憩	9:00	実践研究Ⅲ 審判法	
	12		9:20	講義Ⅳ 安全管理・指導（2）	10:00		閉講式
	13		10:00	休憩	10:45		解散
	14		10:15	実践研究Ⅱ-1 班ごとの指導案作成	11:00		解散
	午 後	15	12:30	12:30	昼食 休憩・準備	12:00	
		16	13:30	13:30	記念撮影 閉講式	12:30	
		17	13:50	13:45	『中学校武道必修化指導書』 武道編DVD視聴	13:45	実践研究Ⅱ-2 指導の実践と観察 指導案に基づく模擬授業
18		14:20	14:20	講義Ⅰ 指導法概論	15:30	休憩・移動	
19		14:50	14:50	講義Ⅱ 安全管理・指導（1）	16:00	実践研究Ⅱ-2 研究協議	
20		15:30	15:30	休憩・更衣・移動	17:00	実践研究Ⅰ 実技研修 ～基本動作から簡易試合まで～	
21		16:00	16:00	実践研究Ⅰ 実技研修 ～基本動作から簡易試合まで～	17:20	休憩・移動	
22		17:20	17:20	休憩・移動	17:30	講義Ⅲ 指導計画	
23		17:30	17:30	講義Ⅲ 指導計画	17:45	入浴	
24		18:30	18:30	翌日の作業案内	18:45	夕食	
25		18:45	18:45	翌日の作業案内	19:45	夕食	
26		19:45	19:45	夕食	19:45	入浴	
27	20	20	入浴	21	21		

※状況により、時程、内容を変更する場合があります。

第8回全国相撲指導者研修会 申込書

令和3年 月 日

参加者

参加申し込みにあたり、主催者、施設管理者の定める新型コロナウイルス感染防止策を遵守することを約束します。

氏名 <small>フリガナ</small>	段位	年齢	性別	自宅住所	自宅電話：
			男	〒	携帯電話：
	段	歳	女		E-mail：
職業	所属団体名 (教員の場合は学校名・教科を記入のこと)			日本武道館からの派遣依頼状 要 ・ 不要 上記派遣依頼状が 「要」 の場合は所属長（学校長等）の役職・氏名ご記入ください	
					所属団体からの交通費補助 有（往復・片道） ・ 無

宿泊を希望される項目に○印をご記入ください。

日程	11/19（金）1日目	11/20（土）2日目
宿泊希望		

※前泊（11月18日）を希望される方は、日本武道館研修センター（0470-73-2111）に直接お申し込みください。
前泊の宿泊費は自己負担になります。

参加区分	①保健体育教員 ・ ②部活動顧問 ・ ③部活動指導員 ・ ④外部指導者 ・ ⑤地域クラブ指導者 ・ ⑥その他()					
参加経歴	有 ・ 無	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回 ・ 第6回
競技経歴	有 ・ 無					
指導経歴	有 ・ 無	有の場合 授業 ・ 部活動 ・ 地域のクラブ ・ その他				

◇本書面にて取得した個人情報は、本事業及び今後の本事業主催者による行事に関する以外には利用いたしません。

また、本書面を提出いただいたことにより、本事業関係者（団体）への提供等の目的に利用されることをご本人が同意したものと取り扱わせていただきます。

第8回全国相撲指導者研修会 新型コロナウイルス感染症対策について

公益財団法人日本武道館では、新型コロナウイルス感染症対策として、以下の通り対応いたします。

1 研修会等当日

- (1) 講師・参加者・運営事務局は、マスクの着用を徹底する。
- (2) 会場にアルコール等の手指消毒剤等を準備する。
- (3) 人と人との間隔を空け、講義・実技を実施する。
- (4) 研修会等の実施期間中は、大きな声で会話をしないようにする。

2 以下の項目に該当する講師・参加者・運営事務局は、参加を見合わせる。

- (1) 体調がすぐれない（せき、のどの痛み、平熱を超える発熱など）。
- (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
- (3) 研修会等の初日から過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。

3 研修会等終了後

- (1) 講師・参加者・運営事務局の中で、研修会等終了後、2 週間以内に新型コロナウイルスを発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

4 その他

- (1) 感染防止のために主催者、施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従うこと。
- (2) 公益財団法人日本相撲連盟が定める感染防止対策を遵守すること。

以上

※後日、講師・参加者各位には、新型コロナウイルス感染症対策遵守事項他、関係書類をご送付いたします。

【相撲の特性に応じた講習に関する感染防止ガイドライン】

※講習会事前・事後の対策および当日の受付時や施設内での生活に関する対策、体調不良者発生時の措置等については、日本武道館作成ガイドラインに則り対応いたします。

段 階	講義講習	実技講習	指導案作成 および 指導案による指導実践
<p>社会一般に一定の感染リスクが持続している状態</p>	<p>● 5人～7人1班で班編成する。</p> <p>①会場は十分な広さを確保する。</p> <p>②座席は間隔を十分に開ける。</p> <p>③演壇と受講者の席の間隔を開ける。</p> <p>④扉、窓を開けた状態を保ち、十分に換気を行う。</p> <p>⑤基本的には、講師・受講者共にマスクを着用したままで行う。</p> <p>⑥大声を出さないようにする。</p> <p>⑦備品・用具の共用はできるだけ避ける。(ベン、マジック、付箋等)</p> <p>⑧開始前、終了後の手指消毒を徹底する。</p> <p>⑨班別協議などの際には、班員同士の</p>	<p>● 5人～7人1班で班編成する。</p> <p>①会場は十分な広さを確保する。</p> <p>②受講生同士の間隔を十分に開ける。</p> <p>③講師と受講者の間隔を十分に開ける。</p> <p>④扉、窓を開けた状態を保ち、十分に換気を行う。</p> <p>⑤基本的には、講師・受講者共にマスクを着用したままで行う。</p> <p>⑥大声を出さないようにする。</p> <p>⑦備品・用具の共用はできるだけ避ける。</p> <p>⑧開始前、終了後の手指消毒を徹底する。</p> <p>⑨基本動作については、十分に間隔を保ったまま行う。</p> <p>⑩対人技能については、動画等でよく確認した上で、相手を想定しながら単独で動き方を実践する。(対人では行わない)</p> <p>⑪簡易試合、試合については、行わない。</p> <p>⑫その他、状況に応じて適宜三密を防ぐ工夫をするなど、柔軟に対応する。</p>	<p>● 5人～7人1班で班編成する。</p> <p>①会場は十分な広さを確保する</p> <p>②受講生(生徒役)同士の間隔を十分に開ける。</p> <p>③講師(教師役)と受講者(生徒役)の間隔を十分に開ける。</p> <p>④扉、窓を開けた状態を保ち、十分に換気を行う。</p> <p>⑤基本的には、講師・受講者共にマスクを着用したままで行う。</p> <p>⑥大声を出さないようにする。</p> <p>⑦備品・用具の共用はできるだけ避ける。</p> <p>⑧開始前、終了後の手指消毒を徹底する。</p> <p>⑨指導案のテーマから対人的技能を除く。(例：礼法、四股、運び足、仕切りからの立ち合いなど)</p> <p>⑩指導案には、対人で身体接触を伴う内容を入れないようにする。</p> <p>⑪指導案に簡易ゲーム等を取り入れても良いが、身体接触のないものに限る。</p> <p>⑫その他、状況に応じて適宜三密を防ぐ工夫をするなど、柔軟に対応する。</p>
<p>社会一般に感染が収束に向かいつつある状態</p>	<p>の</p> <p>⑩その他、状況に応じて適宜三密を防ぐ工夫をするなど、柔軟に対応する。</p>	<p>● 5人～7人1班で班編成する。</p> <p>①会場は十分な広さを確保する。</p> <p>②受講生同士の間隔を十分に開ける。</p> <p>③講師と受講者の間隔を十分に開ける。</p> <p>④扉、窓を開けた状態を保ち、十分に換気を行う。</p> <p>⑤基本的には、講師・受講者共にマスクを着用したままで行う。</p> <p>⑥大声を出さないようにする。</p> <p>⑦備品・用具の共用はできるだけ避ける。</p> <p>⑧開始前、終了後の手指消毒を徹底する。</p> <p>⑨基本動作については、十分に間隔を保ったまま行う。</p> <p>⑩対人技能については、動画等でよく確認した上で、形や動き方の確認をメインに、互いに息が乱れない程度の強度で行う。繰り返し行う場合は回数を2、3回程度に限定しとし、短時間で終わるようにする。受けと攻めを決めて行うものに限って行う。</p> <p>⑪簡易試合、試合については、ごく短時間でできる簡易なものに限って行う。</p> <p>⑫その他、状況に応じて適宜三密を防ぐ工夫をするなど、柔軟に対応する。</p>	<p>● 5人～7人1班で班編成する。</p> <p>①会場は十分な広さを確保する。</p> <p>②受講生(生徒役)同士の間隔を十分に開ける。</p> <p>③講師(教師役)と受講者(生徒役)の間隔を十分に開ける。</p> <p>④扉、窓を開けた状態を保ち、十分に換気を行う。</p> <p>⑤基本的には、講師(教師役)・受講者(生徒役)共にマスクを着用したままで行う。</p> <p>⑥大声を出さないようにする。</p> <p>⑦備品・用具の共用はできるだけ避ける。</p> <p>⑧開始前、終了後の手指消毒を徹底する。</p> <p>⑨指導案のテーマに対人的技能を含む。(例：礼法、四股、運び足、仕切りからの立ち合い、押し、出し投げなど)</p> <p>⑩指導案に対人で身体接触を伴う内容を入れても良いが、形や動きの習得・確認を主眼とした短時間のものとし、互いに攻防し合うような内容は扱わない。</p> <p>⑪指導案に簡易ゲーム等を取り入れても良いが、身体接触の時間が短く、ごく簡単なものに限る。</p> <p>⑫その他、状況に応じて適宜三密を防ぐ工夫をするなど、柔軟に対応する。</p>